

2025年度第1回小倉競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 萌黄賞

萌黄（もえぎ）は、萌え出た若葉のような冴えた黄緑系統の色。古来より用いられ、平安時代には若者向けの色として愛好された。

○ 北九州モノレール開業40周年記念 企救丘特別

本競走は、北九州モノレール開業40周年を記念して実施される。

企救丘（きくがおか）は、北九州市小倉南区の地名。北九州モノレールの駅名に用いられており、企救丘駅は終点となっている。

○ 小倉牝馬ステークス（GⅢ）

本競走は、2025年に創設された牝馬限定の重賞競走。中京競馬場で実施されていた牝馬限定の重賞競走（『農林水産省賞典愛知杯』）が小倉競馬場へ移設されたことを機に、競走名を改称し、回次も新たに実施される。

<第2日>

○ 八幡特別

八幡（やはた）は、北九州市にある区。1963年に八幡市から北九州市八幡区となり、1974年に東西に分区した。明治時代に操業を開始した官営八幡製鐵所は、2015年に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成遺産となっている。

○ 海の中道特別

海の中道（うみのなかみち）は、福岡市東区にある玄界灘と博多湾を区切る砂州。架橋で志賀島と結ばれている。江戸時代に植えられたクロマツによる白砂青松の景勝地で、志賀島とともに玄海国定公園の一部を形成する。国営の「海の中道海浜公園」などがあり、行楽地となっている。

○ 壇之浦ステークス

壇之浦（だんのうら）は、山口県下関市の市街地東端、関門海峡の東の海域である早鞆瀬戸（はやとものせと）に臨む海岸。源平合戦最後の戦場として知られる。関門トンネル・新関門トンネル・関門橋が集まる交通の要衝で、安徳帝を祀る赤間神宮など史跡が多い観光地でもある。

<第3日>

○ 平尾台特別

平尾台（ひらおだい）は、福岡県北東部に位置する石灰岩台地であり、日本三大カルストと呼ばれる。国の天然記念物に指定されており、北九州を代表する観光地のひとつとなっている。

○ 有田特別

有田（ありた）は、佐賀県西部、有田川の上中流域を占める西松浦郡の町。有田焼の産地として知られ、例年大規模な陶器市が開かれる。有田の陶業は、朝鮮出身の陶工・李參平が17世紀初頭、泉山で良質な白磁鈷を発見し、日本で初めて磁器を焼くことに成功したことが起源とされている。

○ 巖流島ステーキス

巖流島（がんりゅうじま）は、山口県下関市、関門海峡に浮かぶ船島の別名。宮本武蔵と佐々木小次郎が決闘した場所として有名であり、敗れた佐々木小次郎の流儀「巖流」をとって巖流島と呼ばれるようになった。

<第4日>

○ 戸畑特別

戸畑（とばた）は、北九州市にある区。毎年7月に催される「戸畑祇園大山笠」が有名。同行事は国の重要無形民俗文化財に指定されており、福岡県夏の三大祭りのひとつとして「提灯山」の愛称で広く親しまれている。

○ 周防灘特別

周防灘（すおうなだ）は、瀬戸内海最西部に位置する水域。山口県南岸と九州北東岸に囲まれ、西は関門海峡で響灘に通じ、東は祝島と国東半島北方の姫島を境として伊予灘に接する。広大な干潟が存在し、貴重な野鳥が数多く飛来することでも有名。

○ 門司ステーキス

門司（もじ）は、北九州市の区。同地区は、九州の北端に位置し、関門海峡を隔て、山口県下関市と相対している。門司港は、国際貿易港として繁栄し、旧門司三井倶楽部や旧門司税関などの歴史的建造物を活かしたレトロな街としても知られ、北九州市の代表的な観光名所となっている。

<第5日>

○ 足立山特別

足立山（あだちやま）は、北九州市小倉北区と小倉南区の境に位置する標高 597m の山。和気清麻呂が足を負傷した際、同山の麓にある温泉に入ったところ快癒し、「立たなかった足が立った」という伝説からこの名前がついたと言われている。また、霧の発生が多いことから別名霧ヶ岳とも呼ばれる。

○ RKB賞

RKB は、福岡市に本社を置く RKB 毎日放送の略称。1951 年開局で、JNN (TBS) 系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 豊前ステークス

豊前（ぶぜん）は、旧国名で、現在の福岡県東部と大分県北部に当たる地域。また、福岡県東部の周防灘に臨む市。沿岸漁業・海苔の養殖のほか、金属・電子工業などが発達している。内陸では米・果樹・茶などの栽培が盛ん。

<第6日>

○ かささぎ賞

かささぎ（鶺鴒）は、スズメ目カラス科の鳥。佐賀県の県鳥。「カチカチ」という鳴声から、カチガラスとも呼ばれる。日本では、佐賀平野を中心とした地域に生息しており、それらの地は国の天然記念物に指定されている。

○ 由布院特別

由布院（ゆふいん）は、大分県中部、由布市の温泉地。周囲を由布岳や黒岳などの 1,000m 級の山に囲まれた盆地である。地名の由来は木綿（ゆふ）の産地であったこと、古代に租税を収蔵する倉院が設置されていたことからという説がある。

○ 小倉日経賞

日経は、東京と大阪に本社を置く日本経済新聞社が発行する日本経済新聞の略称。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第7日>

○ 小倉ジャンプステークス（J・GⅢ）

本競走は、1999年に創設された障害重賞競走。当初は『小倉サマージャンプ』という名称で夏の小倉競馬で実施されてきたが、2025年より実施時期を2月へ移設し、『小倉ジャンプステークス』に改称されている。

最終の障害を芝コースに設置することで、迫力ある飛越を間近で観戦することができる競走となっている。

○ あすなろ賞

あすなろは、ヒノキ科の常緑高木。日本固有種で、全国の山地に自生し、大きいものは高さ30m、直径1mにもなる。葉はやや厚く大きなウロコ状で緑色をしており、裏面には雪白色の模様がある。抗菌性と耐湿性に優れ、古くから木材として用いられている。

○ 太宰府特別

太宰府（だざいふ）は、福岡県中西部の市。律令制下で西海道（九州全土）を統括した官庁である大宰府が置かれていた。また、「学問・至誠・厄除けの神」と崇められる菅原道真を祀った太宰府天満宮があり、全国から多くの参拝者が訪れる。

○ 下関ステークス

下関（しものせき）は、山口県西端に位置する市。古くより九州や中国大陸からの本州の玄関口として栄えた。また、平安時代の壇之浦の戦いや、江戸時代末期に起きた下関戦争など、歴史的舞台となった都市として知られている。

<第8日>

○ 大濠特別

大濠（おおほり）は、福岡市中央区の地名。福岡城の外濠を利用して造られた大濠公園が有名。公園内には、市立美術館・能楽堂・日本庭園などがある。

○ 伊万里特別

伊万里（いまり）は、佐賀県西部の伊万里湾に臨む市。湾奥の伊万里港は、かつて陶磁器や石炭の積み出し港として栄えた。近年では大規模な臨海工業団地を造成し、造船・IC関連産業・木材関連産業等が集まり近代的な工業港として発展している。南部の大川内や平尾は伊万里焼の産地として有名。

○ 北九州短距離ステークス

北九州（きたきゅうしゅう）は、福岡県北部にある政令指定都市。同市の官営八幡製鐵所関連施設を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録されている。

なお、同市は小倉競馬場の所在地でもある。

<第9日>

○ 秋吉台特別

秋吉台（あきよしだい）は、山口県西部にある美祢市の中・東部に広がるカルスト台地。狭義には台地中央を貫流する厚東川以東の国定公園地区を指す。日本最大級のカルスト台地として知られ、古生物学・構造地質学上でも重要視されている。特に日本一の規模を誇る鍾乳洞は観光地としても有名。

○ 皿倉山特別

皿倉山（さらくらやま）は、北九州市八幡東区にある標高 622m の山。西に続く帆柱山とともに北九州国定公園となっている。山頂にある展望台からは洞海湾沿岸の工業地帯や関門海峡を一望でき、夜景が美しいことで知られている。

○ 小倉城ステークス

小倉城（こくらじょう）は、北九州市小倉北区にある城。1602年に細川忠興が築城した。1959年に現在の天守閣が再建され、1998年には城内下屋敷跡に江戸時代の大名屋敷を再現した小倉城庭園が完成した。桜の名所としても名高く観光地として親しまれている。

<第10日>

○ 高千穂特別

高千穂（たかちほ）は、宮崎県北端部にある町。五ヶ瀬川にかかる峡谷「高千穂峡」が有名で、日本の滝 100 選に選定された名瀑「真名井の滝」がある。また、宮崎県と鹿児島県の境に位置する高千穂峰は天孫降臨伝説の地として知られ、山頂には天逆鉾（あまのさかほこ）がある。ミヤマキリシマ、マイヅルソウなどが自生し、山麓には多くの温泉がある。

○ 和布刈特別

和布刈（めかり）は、北九州市門司区の地名。名は、和布刈神社に由来する。「和布刈」とは、わかめを刈り取ることを意味し、同神社では旧暦の元旦に神官がわかめを刈り取る行事「和布刈神事」が行われている。

○ 小倉大賞典（GⅢ）

本競走は、1967年に創設された重賞競走。創設以来、スタンド改築等を除き、芝 1800m のハンデキャップ戦で実施されている。

<第11日>

○ 脊振山特別

脊振山（せふりさん）は、福岡県と佐賀県の境に位置する標高 1,055m の山。頂上には脊振神社がある。また、鎌倉時代に栄西禅師が宋の茶を移植したことで知られ、日本茶栽培の発祥地とされる。

○ 西日本新聞杯

西日本新聞社は、福岡市に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 早鞆特別

早鞆（はやとも）は、九州の北端、門司崎と下関市壇之浦との間の水路。早鞆瀬戸（はやとものせと）の名で知られる。この付近は海峡の中で最も狭く、本州と九州の間の海峡の幅は約 630m。潮の流れも強く、最大 9 ノット（約 17 km /h）に達することもある。

<第12日>

○ あざみ賞

あざみは、キク科アザミ属の多年草の総称。世界中に約 250 種あり、このうち日本ではおよそ 80 種が自生している。身に付けていると、北欧神話に登場する雷神トールの加護が得られるとされており、「雷草」とも呼ばれている。花言葉は「厳格」「独立」。

○ 別府特別

別府（べっふ）は、大分県中部、別府湾奥にある市。湧き出るお湯の量が豊富なことに加え、8つの温泉郷からなる「別府八湯」や地中から湧き出る蒸気を楽しむ「地獄めぐり」など、温泉観光地として有名。温泉熱を利用した研究所・療養所・保養所などの施設が集中している。

○ 関門橋ステークス

関門橋（かんもんきょう）は、北九州市と下関市を結ぶ関門自動車道が走る吊り橋。全長 1,068m、幅 26m で桁下は 61m。1968年に着工し、1973年に開通した。夜には、橋全体に施されたイルミネーションと橋脚部分からのライトアップが見られる。